

## 編集後記

「紀要」という言葉を辞書で調べると「定期刊行物」と説明されています。この定義からすると本誌は「紀要」とは言えないのではないかと反省される12号の発行です。前号の発行は2007年10月、この間の大きな変化としては、《遠隔学習課程(通信教育)》事業が、中国帰国者支援・交流センター(御徒町)から所沢に移ったことが挙げられます。本号では、御徒町の時代も含め、この《遠隔学習課程》のこれまでの歩みをようやくまとめることができました。今後は、所沢での、帰国当初の予備的集中教育と、全国各地の帰国者を対象とした《遠隔学習課程》、また、帰国者が最も多く定着している首都圏における御徒町センターでの通学課程と交流活動、2つのセンターでのこれらの活動について、「実践と研究」を定期的に報告できるように努めていきたいと思っています。

今回は、センター外からも貴重な実践報告とレポートをいただくことができました。どちらも、日本で人生を切り開いていかなければならない子供たちへの学習支援について重要な示唆を与えてくれるものです。この場を借りてお礼を申し上げます。

紀要編集委員一同

お詫び.....

前号(11号)掲載論文、鍛冶致(大阪成蹊大学)「外国人小中学生はどのような特徴をもつ県に多いのか——460種類の県別データとの相関分析——」の数値に誤りがありました。お詫び致します。

★正しい数値に基づいて書き直した論文は、当センターホームページコンテンツガイド(所沢センターから)紀要→11号 に掲載しています。

中国帰国者定着促進センター 紀要 第12号

発行：2010年 8月 20日

編集者：中国帰国者定着促進センター

教務部 紀要編集委員会

TEL 04(2993)1660 FAX 04(2991)1689

メールアドレス kyohmubu@kikokusha-center.or.jp

ホームページアドレス <http://www.kikokusha-center.or.jp>

発行者：財団法人 中国残留孤児援護基金

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-5-8

オフィス虎ノ門1ビル

TEL 03(3501)1050